

平成22年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	大分県	市町村類型	Ⅲ－〇	指定団体等の指定状況				区分		平成22年度(千円)	平成21年度(千円)	区分		平成22年度(千円・%)	平成21年度(千円・%)
				財政健全化等	財源超過	首都	近畿	中部	過疎			山振	低開発		
市町村名	九重町	地方交付税種地	2-1												
人口	22年国調(人)	10,421	産業構造												
	17年国調(人)	11,108	区分	17年国調	12年国調										
	増減率(%)	-6.2													
住民基本台帳人口	23.03.31(人)	10,801	第1次	1,718	1,968										
	22.03.31(人)	11,002		29.5	31.7										
	増減率(%)	-1.8	第2次	1,165	1,397										
				20.0	22.5										
面積(km ²)	271.41	第3次	2,938	2,836											
人口密度(人/km ²)	38		50.5	45.7											
世帯数(世帯)	3,601														
職員等の状況															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	歳入総額	6,930,136	7,288,720	実質収支比率	9.6	9.5		
	市区町村長	1	7,200	一般職員	129	406,350	3,150	歳出総額	6,489,931	6,860,122	経常収支比率	84.6	88.9		
	副市区町村長	1	5,850	うち消防職員	-	-	-	歳入歳出差引	440,205	428,598	(※1)	(92.2)	(95.3)		
	収入役	-	-	うち技能労務職員	8	21,544	2,693	翌年度に繰越すべき財源	50,591	63,418	標準財政規模	4,047,407	3,836,416		
	教育長	1	5,430	教育公務員	10	35,916	3,592	実質収支	389,614	365,180	財政力指数	0.32	0.34		
	議会議長	1	3,010	臨時職員	-	-	-	単年度収支	24,434	-70,358	公債費負担比率	13.0	8.8		
	議会副議長	1	2,600	合計	139	442,266	3,182	積立金	1,036	71,133	健全化判断比率	-	-		
	議会議員	11	2,500	ラスパイレス指数			102.7	繰上償還金	216,166	-	実質赤字比率	-	-		
								積立金取崩し額	-	63,015	連結実質赤字比率	-	-		
								実質単年度収支	241,636	-62,240	実質公債費比率	5.7	5.4		
							基準財政収入額	1,036,583	1,074,168	将来負担比率	-	-			
							基準財政需要額	3,420,863	3,288,118	資金不足比率(※3)					
							標準税収入額等	1,325,027	1,379,729						
							経常経費充当一般財源等	3,476,671	3,434,435						
							歳入一般財源等	5,432,297	5,528,164						
							地方債現在高	5,635,067	5,812,376						
							うち公的資金	5,472,127	5,422,869						
							債務負担行為額(支出予定額)	803,706	930,145						
							収益事業収入	-	-						
							土地開発基金現在高	139,741	139,572						
							積立金	1,058,338	867,302						
							現在高	1,935,727	1,722,240						
							財政調整基金	2,553,132	2,436,270						
							減債基金								
							その他特定目的基金								

一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※2)	
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(9)	水道特別会計	(10)	大分県退職手当組合	(17)	(財)大分県森林整備センター
(2)	同和住宅資金貸付事業特別会計	(5)	老人保健特別会計			(11)	大分県消防等補償組合	(18)	(財)大分県産業創造機構
(3)	飯田高原診療所特別会計	(6)	介護保険特別会計			(12)	大分県市町村会館管理組合		
		(7)	介護サービス事業特別会計			(13)	大分県後期高齢者医療広域連合(普通会計)		
		(8)	後期高齢者医療特別会計			(14)	大分県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業会計)		
						(15)	日田玖珠広域消防組合		
						(16)	玖珠九重行政事務組合		

(注釈)
 ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	1,138,251	16.4	1,138,251	30.2
地方譲与税	90,899	1.3	90,899	2.4
利子割交付金	2,648	0.0	2,648	0.1
配当割交付金	755	0.0	755	0.0
株式等譲渡所得割交付金	246	0.0	246	0.0
地方消費税交付金	99,681	1.4	99,681	2.6
ゴルフ場利用税交付金	3,755	0.1	3,755	0.1
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	16,283	0.2	16,283	0.4
軽油引取税交付金	-	-	-	-
地方特例交付金	16,890	0.2	16,890	0.4
児童手当及び子ども手当特例交付金	9,073	0.1	9,073	0.2
減収補填特例交付金	7,817	0.1	7,817	0.2
地方交付税	2,639,670	38.1	2,384,280	63.2
普通交付税	2,384,280	34.4	2,384,280	63.2
特別交付税	255,390	3.7	-	-
(一般財源計)	4,009,078	57.8	3,753,688	99.5
交通安全対策特別交付金	2,846	0.0	2,846	0.1
分担金・負担金	26,348	0.4	-	-
使用料	692,864	10.0	1,263	0.0
手数料	7,666	0.1	-	-
国庫支出金	630,137	9.1	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	14,647	0.2	14,647	0.4
都道府県支出金	410,726	5.9	-	-
財産収入	73,576	1.1	-	-
寄附金	46,255	0.7	-	-
繰入金	232,916	3.4	-	-
繰越金	238,598	3.4	-	-
諸収入	80,279	1.2	-	-
地方債	464,200	6.7	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	338,100	4.9	-	-
歳入合計	6,930,136	100.0	3,772,444	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)					
区分		収入済額	構成比	超過課税分	
普通税		1,111,875	97.7	-	-
法定普通税		1,111,875	97.7	-	-
市町村民税		313,707	27.6	-	-
個人均等割		14,092	1.2	-	-
所得割		235,455	20.7	-	-
法人均等割		24,035	2.1	-	-
法人税割		40,125	3.5	-	-
固定資産税		728,132	64.0	-	-
うち純固定資産税		710,521	62.4	-	-
軽自動車税		29,863	2.6	-	-
市町村たばこ税		40,173	3.5	-	-
鉱産税		-	-	-	-
特別土地保有税		-	-	-	-
法定外普通税		-	-	-	-
目的税		26,376	2.3	-	-
法定目的税		26,376	2.3	-	-
入湯税		26,376	2.3	-	-
事業所税		-	-	-	-
都市計画税		-	-	-	-
水利地益税等		-	-	-	-
法定外目的税		-	-	-	-
旧法による税		-	-	-	-
合計		1,138,251	100.0	-	-
区分		平成22年度		平成21年度	
徴収率	現・計	合計	98.0	91.4	91.6
(%)	年	市町村民税	98.4	93.0	92.5
		純固定資産税	97.8	90.2	90.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況		
合計	559,537	実質収支	37,963	
簡易水道	20,000	再差引収支	13,019	
上水道	-	加入世帯数(世帯)	1,960	
工業用水道	-	被保険者数(人)	3,780	
交通	-	被保険者 1人当り {	保険税(料)収入額	82
国民健康保険	134,353		国庫支出金	96
その他	405,184		保険給付費	258

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	85,645	1.3	-	-	85,645
総務費	1,633,266	25.2	-	62,769	1,394,492
民生費	1,331,930	20.5	-	17,092	894,935
衛生費	499,723	7.7	-	28,748	399,497
労働費	27,245	0.4	-	-	1,178
農林水産業費	551,830	8.5	-	131,113	321,982
商工費	234,248	3.6	-	19,078	72,706
土木費	557,791	8.6	-	466,401	411,350
消防費	234,862	3.6	-	44,594	225,412
教育費	586,864	9.0	-	100,561	468,402
災害復旧費	20,138	0.3	-	-	7,813
公債費	726,389	11.2	-	-	708,680
諸支出費	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	6,489,931	100.0	870,356	-	4,992,092
性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,460,583	37.9	2,010,145	1,767,362	43.0
人件費	1,279,909	19.7	1,133,930	1,108,885	27.0
うち職員給	755,189	11.6	639,526	-	-
扶助費	454,285	7.0	167,535	165,963	4.0
公債費	726,389	11.2	708,680	492,514	12.0
内 元利償還金	726,389	11.2	708,680	492,514	12.0
内 一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	3,138,854	48.4	2,389,787	1,709,309	41.6
物件費	1,180,270	18.2	686,516	645,693	15.7
維持補修費	24,290	0.4	17,727	17,727	0.4
補助費等	812,602	12.5	649,411	587,882	14.3
うち一部事務組合負担金	359,675	5.5	359,675	335,745	8.2
繰出金	559,537	8.6	482,615	458,007	11.1
積立金	562,155	8.7	553,518	-	-
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	890,494	13.7	592,160	-	-
うち人件費	17,080	0.3	15,799	-	-
普通建設事業費	870,356	13.4	584,347	-	-
うち補助	54,237	0.8	3,080	-	-
うち単独	772,998	11.9	548,333	-	-
災害復旧事業費	20,138	0.3	7,813	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	6,489,931	100.0	4,992,092	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成22年度 大分県九重町

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	6,866	6,427	439	389	234	5,635	基金から234百万円
2 昭和住宅資金貸付事業特別会計	1	1	-	0	-	-	
3 飯沼高野診療所特別会計	71	70	1	1	2	-	基金から2百万円
計一般会計等	6,938	6,498	440	340	-	5,635	実質赤字額

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額/不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうちの一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 国民健康保険特別会計	1,503	1,465	38	38	134	-	-	-	
2 老人保健特別会計	1	1	-	-	-	-	-	-	
3 介護保険特別会計	1,316	1,285	31	31	192	-	-	-	
4 介護サービス事業特別会計	26	26	-	-	17	-	-	-	
5 後期高齢者医療特別会計	118	118	-	-	46	-	-	-	
6 水道特別会計	119	108	11	11	20	512	18	-	法非適用企業
計公営企業会計等				90		512	18		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

一部事務組合等名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額/不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうちの一般会計等繰入見込額	備考
1 大分県退職手当組合	2,814	2,770	44	44	-	-	-	
2 大分県消防等補償組合	354	353	1	1	3	-	-	
3 大分県市町村会館管理組合	106	98	8	8	52	-	-	基金から52百万円
4 大分県後期高齢者医療広域連合（普通会計）	213	145	68	68	47	-	-	基金から24百万円
5 大分県後期高齢者医療広域連合（後期高齢者医療事業会計）	163,055	158,654	4,401	4,401	1,112	-	-	
6 日田政務広域消防組合	1,370	1,354	15	15	148	176	33	基金から148百万円
7 玖珠九重行政事務組合	814	768	46	46	15	1,433	312	基金から15百万円
計一部事務組合等						1,609	344	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1 (財)大分県森林整備センター	-23	4,874	18	1	-	-	-	-	県所管第三セクター
2 (財)大分県産業創造機構	85	2,195	0	0	-	-	-	-	県所管第三セクター
計地方公社・第三セクター等									※地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、○印を付している。

公債負債の状況（千円・％）

区分	実質公債費比率（千円・％）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比
元利償還金		490,487	499,749	510,223	14.1
繰上一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	
公営企業債の元利償還金口対する繰入金		20,000	18,392	18,341	0.5
組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等		67,853	65,550	64,589	1.8
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）		73,098	73,098	73,098	2.0
一時借入金の利息		-	-	-	
合計	(ア)	651,438	656,789	666,251	
内訳		平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比
PF1事業に係るもの		-	-	-	
いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	
国土改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		73,098	73,098	73,098	2.0
地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	
社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	
損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	
引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	
その他上記に準ずるもの		-	-	-	
利息補給に係るもの		-	-	-	
標準財政規模	(イ)	3,831,758	3,836,416	4,047,407	
算入公債費等の額	(ウ)	472,932	441,209	430,837	
分母	(イ)-(ウ)	3,358,826	3,395,207	3,616,570	
実質公債費比率	(単年度)	5.3	5.9	6.0	
((ア)-(ウ))/((イ)-(ウ))×100	(3ヵ年平均)	4.4	5.4	5.7	

将来負債の状況（千円・％）

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比	内訳	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比
将来負債額	5,880,985	5,812,376	5,635,067	155.8	PF1事業に係るもの	-	-	-	-
一般会計等に係る地方債の現在高					いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
債務負担行為に基づく支出予定額	292,392	219,294	146,196	4.0	国土改良事業に係るもの	-	-	-	-
公営企業債等繰入見込額	146,386	191,456	132,685	3.7	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	292,392	219,294	146,196	4.0
組合等負担等見込額	435,325	378,751	344,256	9.5	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
退職手当負担見込額	1,610,362	1,499,766	1,509,764	41.7	依頼土地の買戻しに係るもの	-	-	-	-
設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
連結実質赤字額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
合計	(エ)	8,365,450	8,101,643	7,787,968		その他上記に準ずるもの	-	-	-
充当可能財源等					水道特別会計	146,386	191,456	132,685	3.7
充当可能基金	4,698,034	5,285,497	5,771,801	159.6	その他の会計	-	-	-	-
充当可能特定繰入	266,215	258,731	247,823	6.9	地方道路公社に係る将来負債額	-	-	-	-
基準財政需要額算入見込額	4,664,010	4,699,933	4,795,306	132.6	土地開発公社に係る将来負債額	-	-	-	-
合計	(オ)	9,628,259	10,244,161	10,814,930		その他第三セクター等に係る将来負債額	-	-	-
将来負債比率(エ)-(オ)/(イ)-(ウ)×100		-	-	-					

健全化判断比率	平成22年度(再掲)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	15.00	20.00
連結実質赤字比率	-	20.00	35.00
実質公債費比率	5.7	25.0	35.0
将来負債比率	-	350.0	-

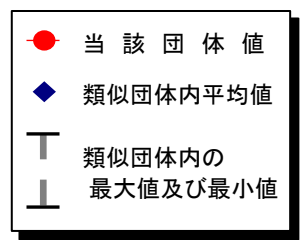
※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、繰上一括償還地方債に係る年度割相当額は健全化法を考慮して算定した額を含んでいる。
 ※実質公債費比率の(ア)-(ウ)は特定財源の額を控除している。

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成22年度

大分県九重町

人口	10,801人 (H23.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	271.41 km ²	連結実質赤字比率	-%
歳入総額	6,930,136千円	実質公債費比率	5.7%
歳出総額	6,489,931千円	将来負担比率	-%
実質収支	389,614千円	市町村類型	H18 Ⅲ-0 H19 Ⅲ-0 H20 Ⅲ-0
標準財政規模	4,047,407千円	(年度毎)	H21 Ⅲ-0 H22 Ⅲ-0
地方債現在高	5,635,067千円		

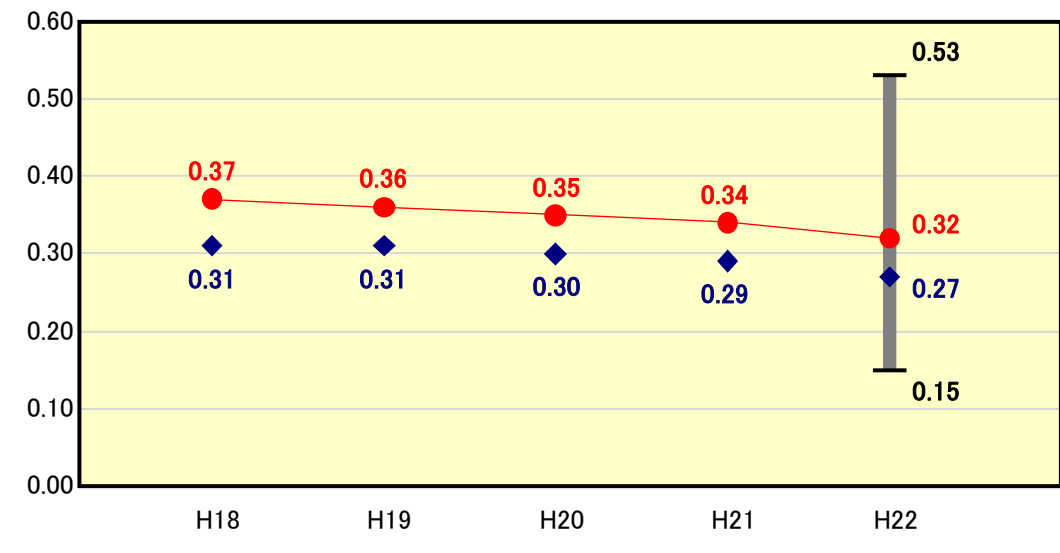


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.32]

類似団体内順位 11/51 全国平均 0.53 大分県平均 0.41

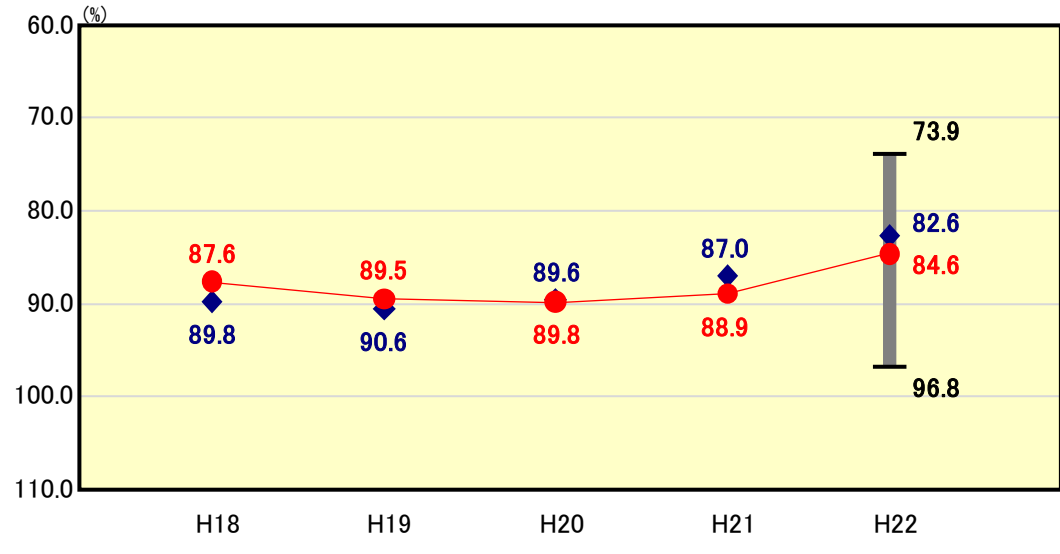


財政力指数の分析欄
 財政力指数については、昨年に比べ0.02ポイントの減、類似団体平均に比べ0.05ポイント高い数値となりました。ここ数年で連続した右肩下がりで、財政力は低下しています。
 要因としては、昨今の経済状況及び人口減少に伴う税収の伸び悩み、社会保障費など財政需要の伸び等が財政力の低下を招いていると考えられます。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [84.6%]

類似団体内順位 35/51 全国平均 89.2 大分県平均 89.4

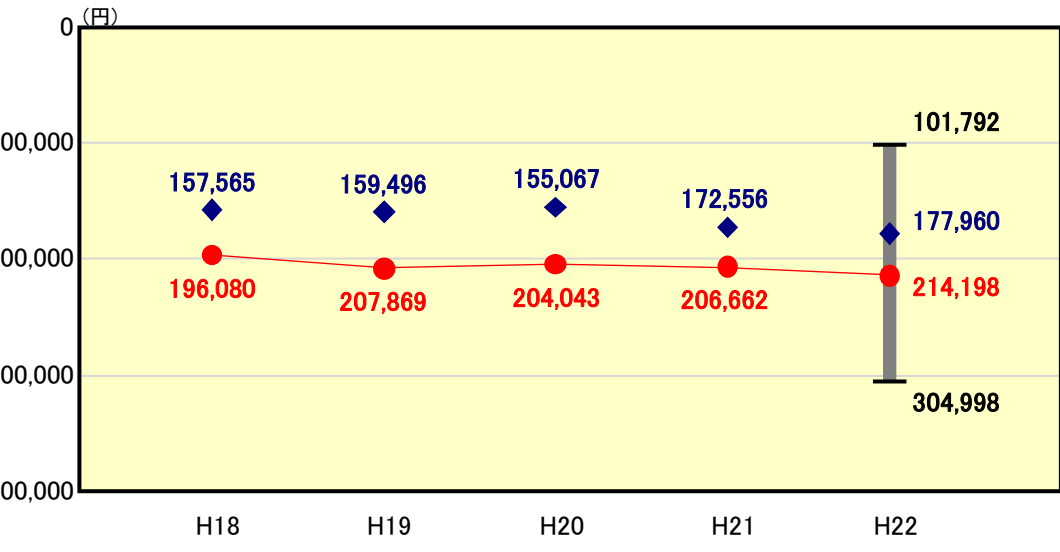


経常収支比率の分析欄
 経常収支比率については、昨年に比べ4.3ポイントの減、類似団体平均に比べ2.0ポイント高い数値となりました。
 要因としては、歳入においては、一般財源である普通交付税が伸びたこと、歳出においては定員管理に基づく人件費等の抑制が図られたことがあげられます。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [214,198円]

類似団体内順位 39/51 全国平均 114,985 大分県平均 123,479

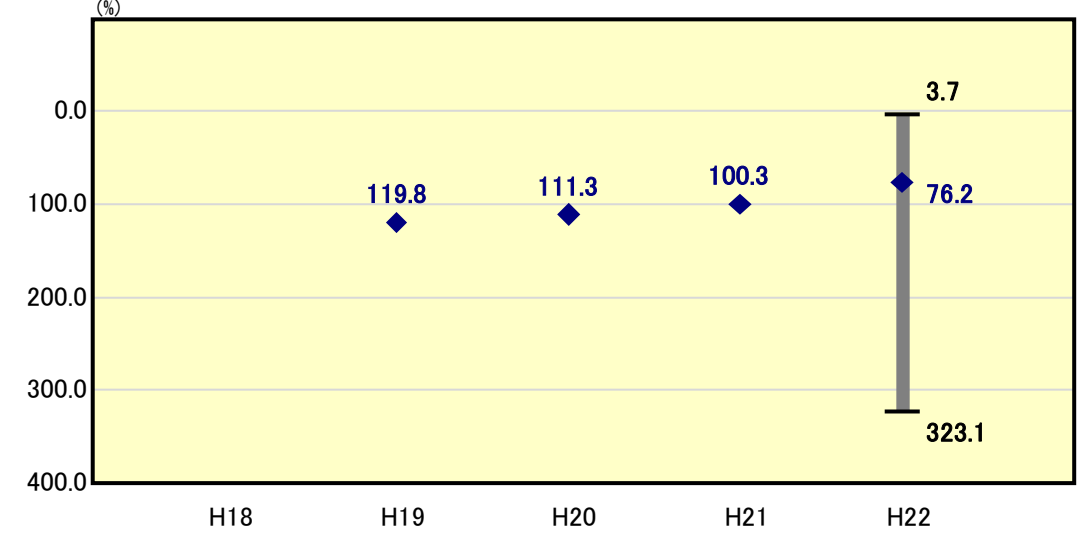


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人口1人当たり人件費・物件費等決算額については、昨年に比べ7,536円の増、類似団体平均に比べ36,238円高くなりました。
 要因としては、人件費についてはその抑制が図られ減となったものの、物件費等については、本町の基幹産業である観光振興に力を注いだこと、地域情報推進事業など広大な面積に比例した経費が必要であったことにより増となりました。また、人口減(前年比▲201人)も当該数値の上昇に大きく起因しています。

将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位 1/51 全国平均 79.7 大分県平均 55.3

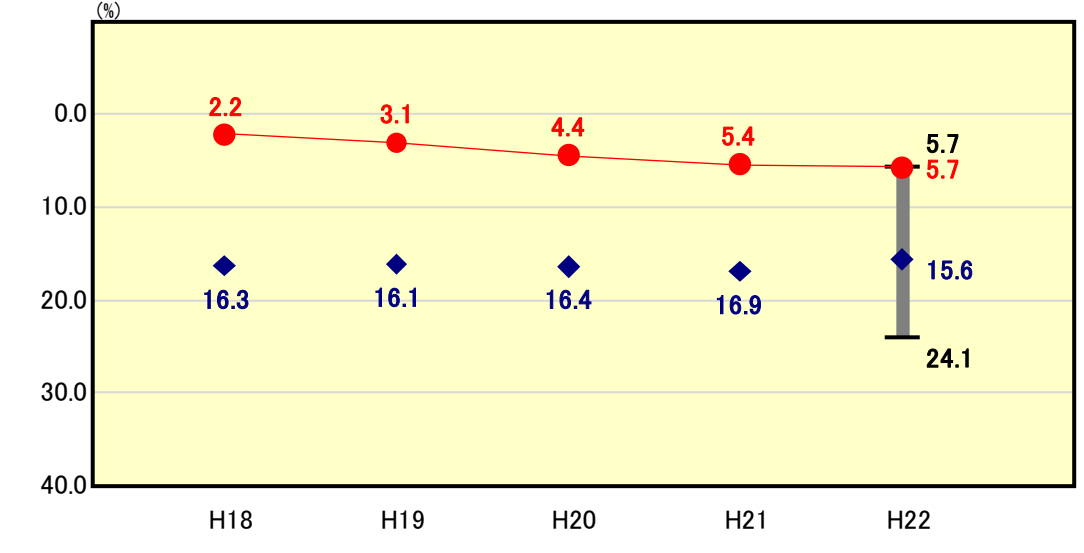


将来負担比率の分析欄
 将来負担比率は、標準財政規模に占める将来負担すべき実質負担額を示す比率ですが、本町におきましては、将来負担額より充当が可能な財源が多いため、将来負担比率はありません。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [5.7%]

類似団体内順位 1/51 全国平均 10.5 大分県平均 10.5

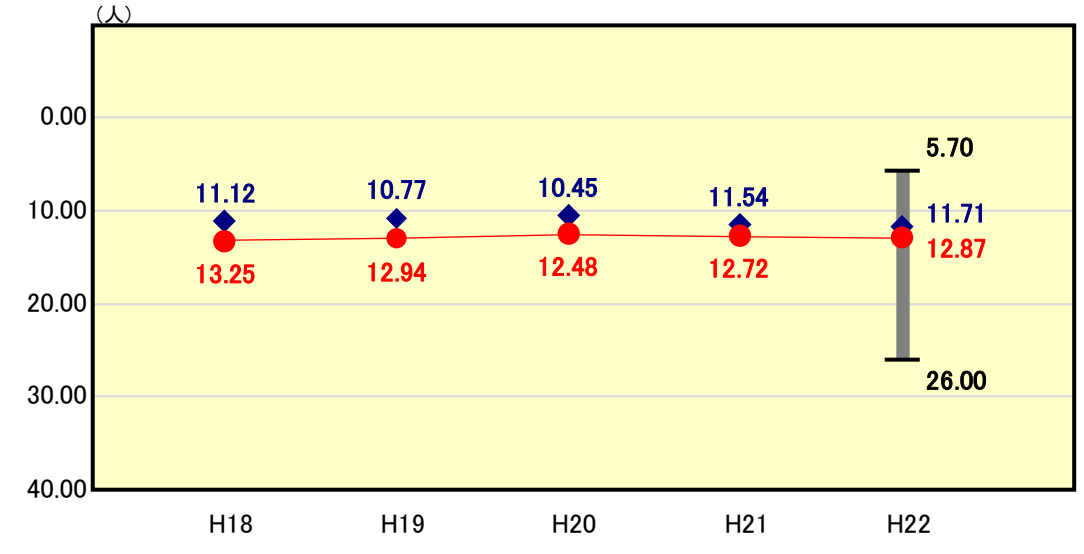


実質公債費比率の分析欄
 実質公債費比率は、昨年に比べ0.3ポイントの増、類似団体平均に比べ1.3ポイント低い数値となりました。類似団体及び全国に比較しても良好な状態にあるといえます。
 要因としては、過去に実施してきた公債費負担額を軽減するための計画的な繰上償還及び交付税として算入される地方債が、借入している地方債全体に占める割合が多いことがあげられます。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [12.87人]

類似団体内順位 34/51 全国平均 7.24 大分県平均 8.51

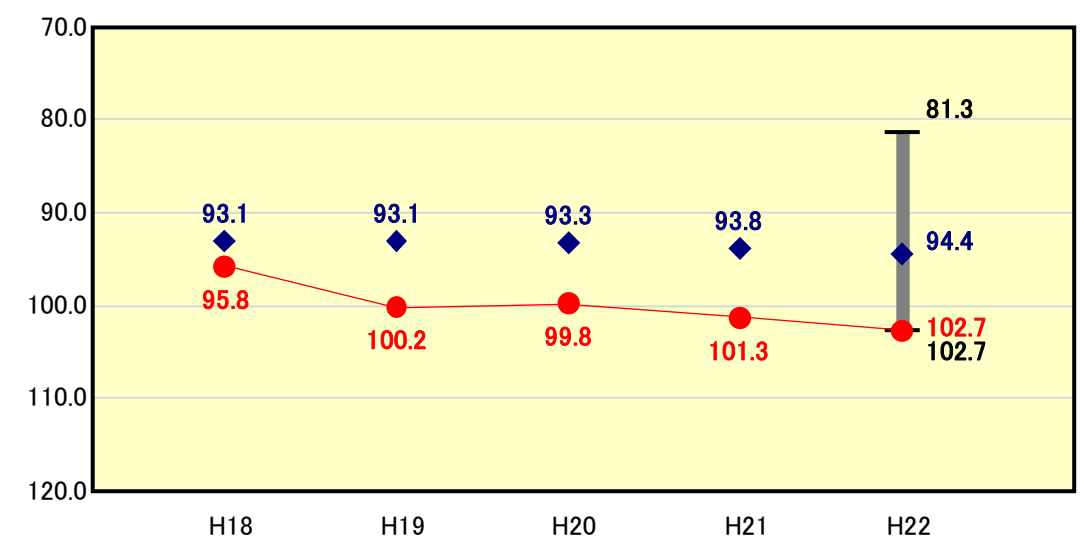


人口千人当たり職員数の分析欄
 人口千人当たり職員数は、昨年に比べ、0.15人の増、類似団体と比較しても1.16人多い状況となっています。
 要因としては、本町の面積が広大であり、施設数が多いことから、行政効率が悪いことがあげられます。
 今後については、適正な定員管理に努めると共に、施設の民営化等による人員削減に努めていきます。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [102.7]

類似団体内順位 51/51 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレス指数の分析欄
 ラスパイレス指数については、昨年に比べ、1.4ポイントの増、類似団体と比較しても8.3ポイント高い状況となっています。
 今後については、職員給与費のカット及び根本的な給与構造の見直しを図り、その是正を図っていきます。

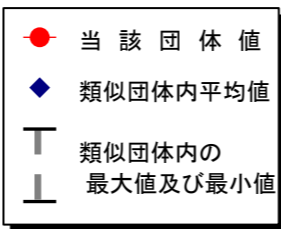
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

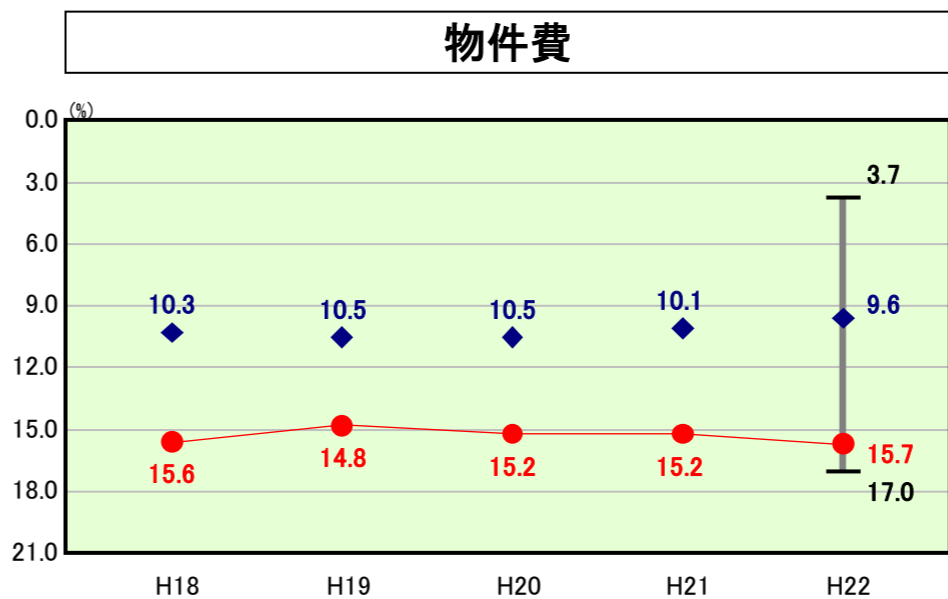
大分県九重町

経常収支比率の分析

人口	10,801人	(H23.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	271.41	km ²	連結実質赤字比率	-%
歳入総額	6,930,136	千円	実質公債費比率	5.7%
歳出総額	6,489,931	千円	将来負担比率	-%
実質収支	389,614	千円	市町村類型	H18 III-O H19 III-O H20 III-O
標準財政規模	4,047,407	千円	(年度毎)	H21 III-O H22 III-O
地方債現在高	5,635,067	千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

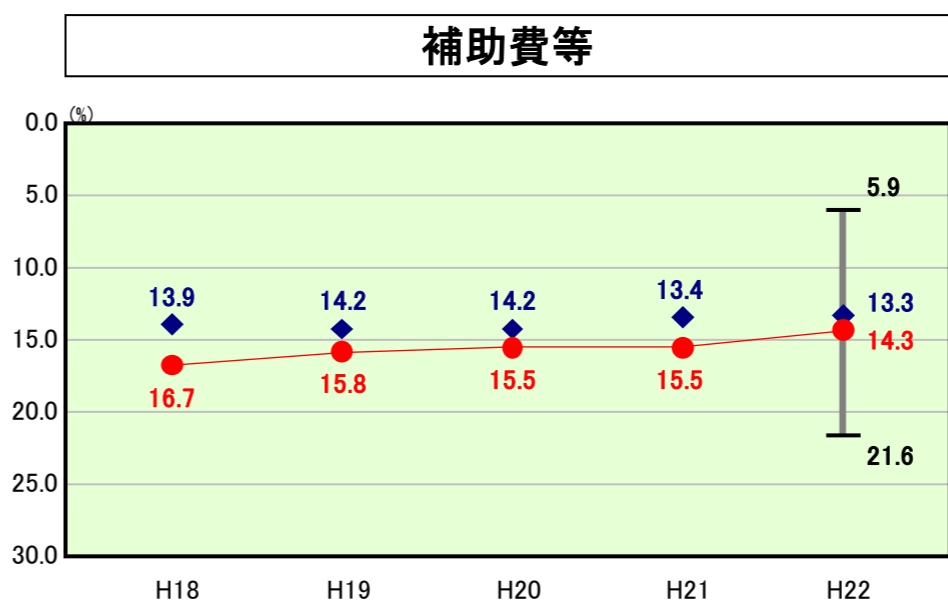


物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は、昨年に比べ0.5ポイント増、類似団体平均に比べ6.1ポイント高い数値となりました。

要因としては、類似団体に比較して面積が広いこと等に伴う財政需要が年々増加傾向にあることがあげられます。

今後については、従来の事業を見直し、経常経費の抑制を図つ

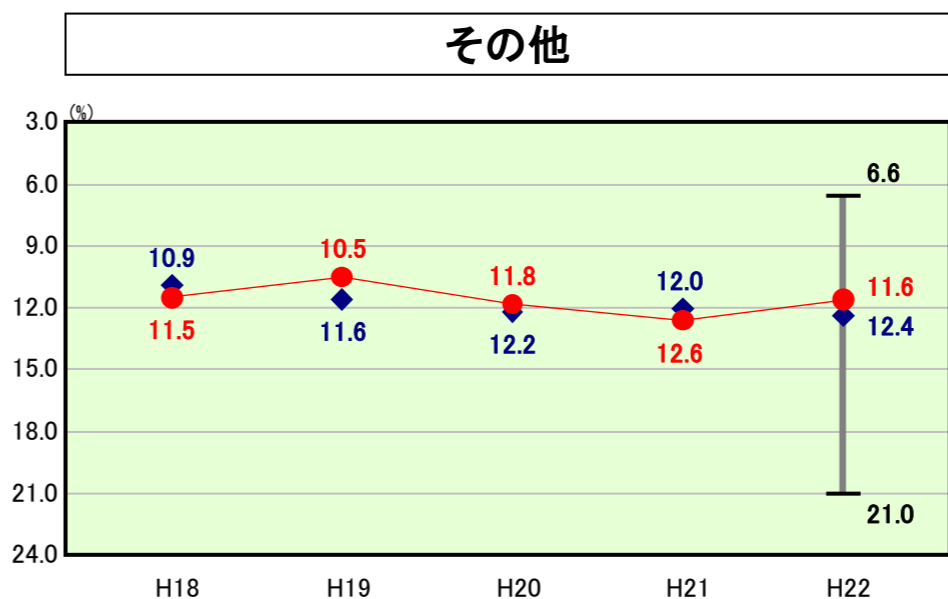


補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は、昨年に比べ1.2ポイントの減、類似団体平均に比べ1.0ポイント高い数値となりました。

要因としては、平成24年に償還が終了予定の広域農道償還金(約8千万円)が大きく影響をしています。

現在、住民に対する補助・交付金の一部カット(10%)を実施してい

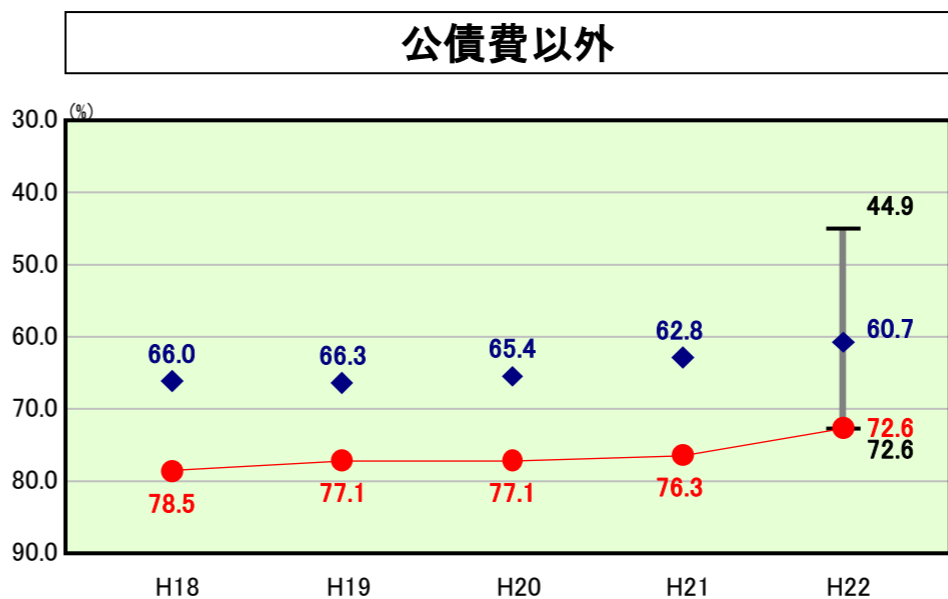


その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、昨年に比べ1.0ポイントの減、類似団体平均に比べ0.8ポイント低い数値となりました。

その他の経費は、特別会計への繰出金が多くなっています。

今後については、国保・介護・後期高齢等の給付費の適正化に努めると共に、各種予防事業の拡大を図っていきます。

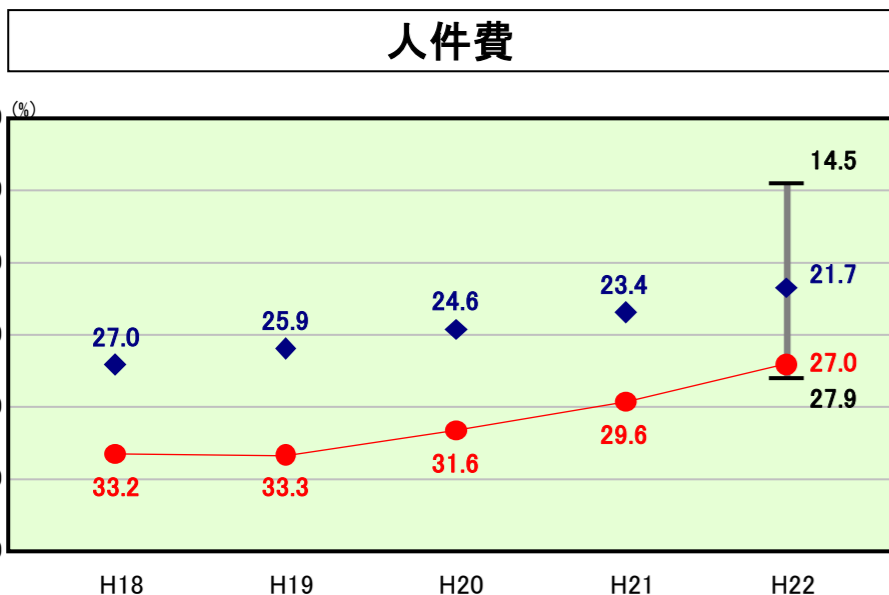


公債費以外の分析欄

公債費以外に係る経常収支比率は、昨年に比べ3.7ポイントの減、類似団体平均に比べ11.9ポイント高い数値となりました。

要因としては、歳出に占める物件費及び人件費の割合が高いことがあげられます。

今後についても、引き続き歳出抑制を図っていきます。

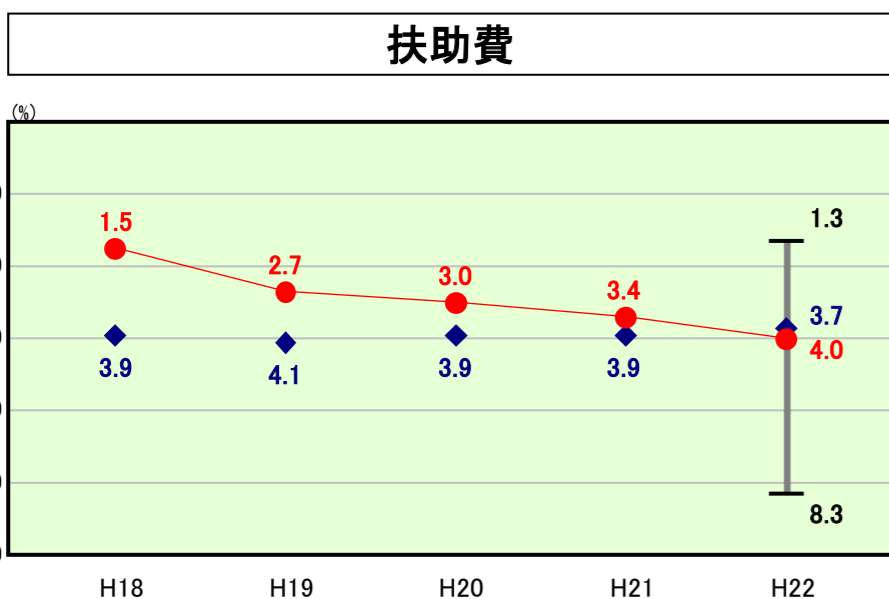


人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は、昨年に比べ2.6ポイントの減、類似団体平均に比べ、5.3ポイント高い数値となりました。

要因としては、職員数の減や平均年齢の低下による職員給の減及び退職手当負担金の減に伴うものであります。

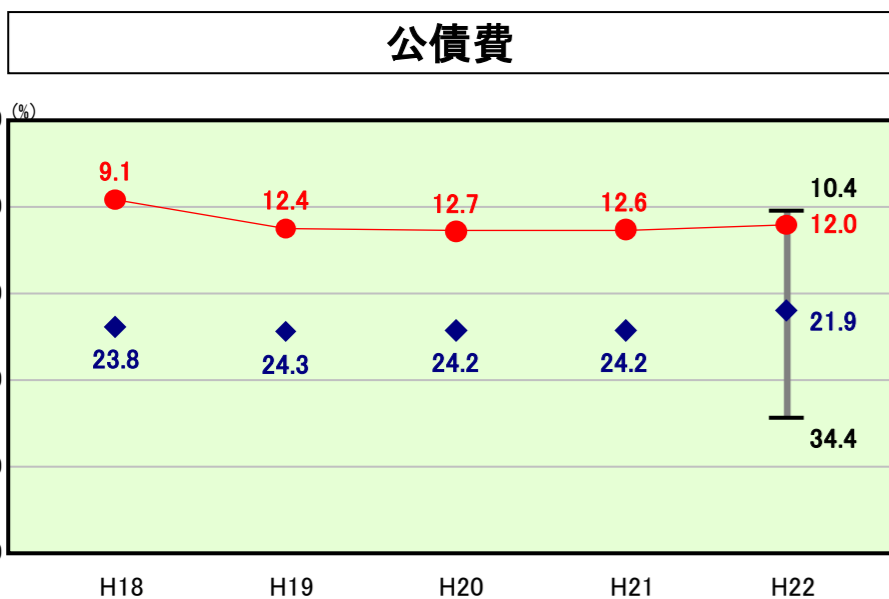
今後も引き続き、適正な定員管理に努めます。



扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は、昨年に比べ0.6ポイントの増、類似団体平均に比べ0.3ポイント高い数値となりました。

要因としては、恒常的な障害者福祉費、高齢者福祉費及び子ども手当の地方負担額の増があげられます。



公債費の分析欄

公債費に係る経常収支比率は、昨年に比べ0.6ポイントの減、類似団体平均に比べ9.9ポイント低い数値となりました。

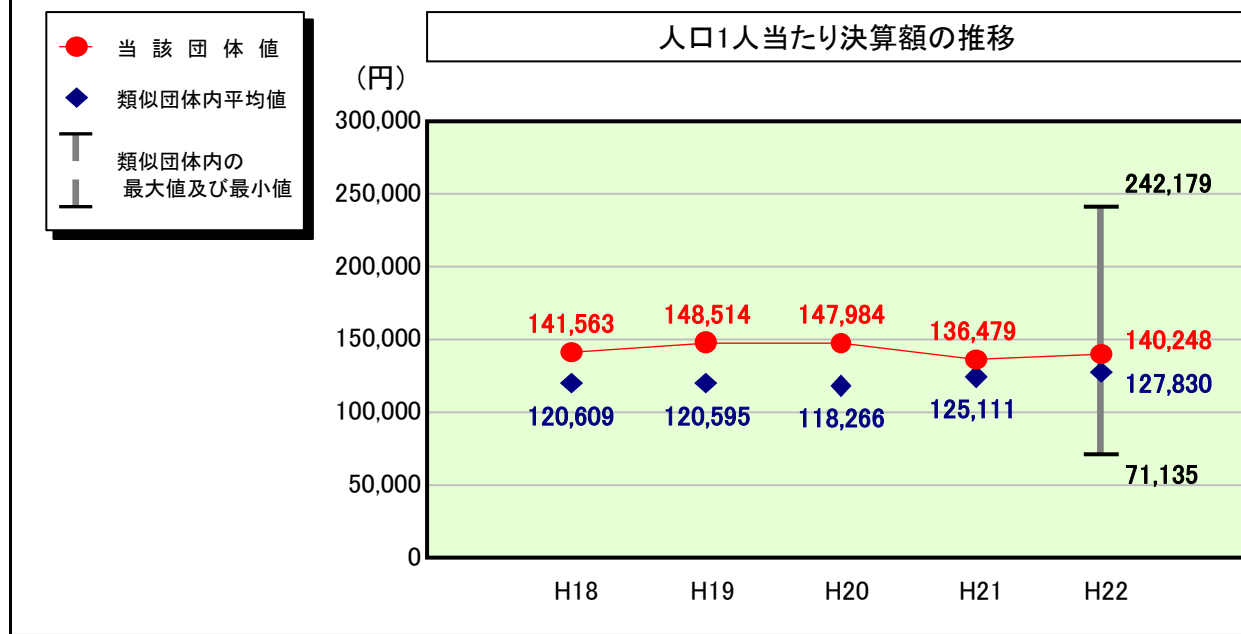
今後についても、大型事業に伴う公債費の増が予想されるため、発行の抑制を図ると共に、プライマリーバランスを保てるよう努めます。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

大分県九重町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



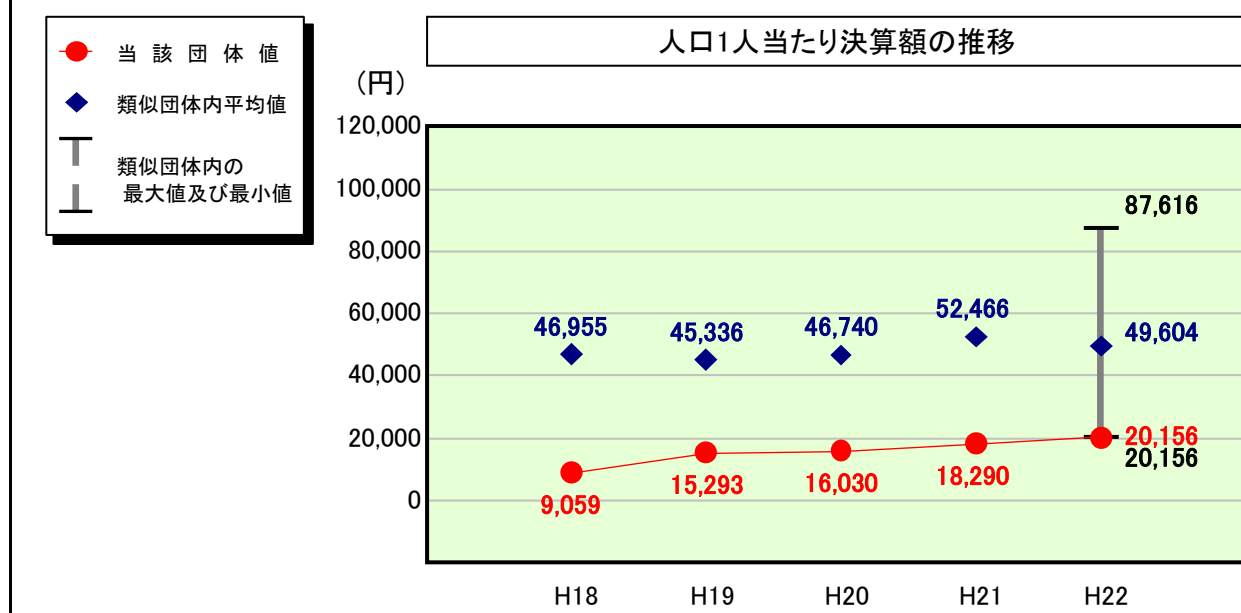
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,279,909	118,499	104,381	13.5
賃金(物件費)	166,852	15,448	8,342	85.2
一部事務組合負担金(補助費等)	152,556	14,124	18,487	▲23.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	2,242	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	86,414	8,001	5,254	52.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	17,080	1,581	2,920	▲45.9
▲退職金	▲187,993	▲17,405	▲13,796	26.2
合計	1,514,818	140,248	127,830	9.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12.87	11.71	1.16
ラスパイレス指数	102.7	94.4	8.3

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

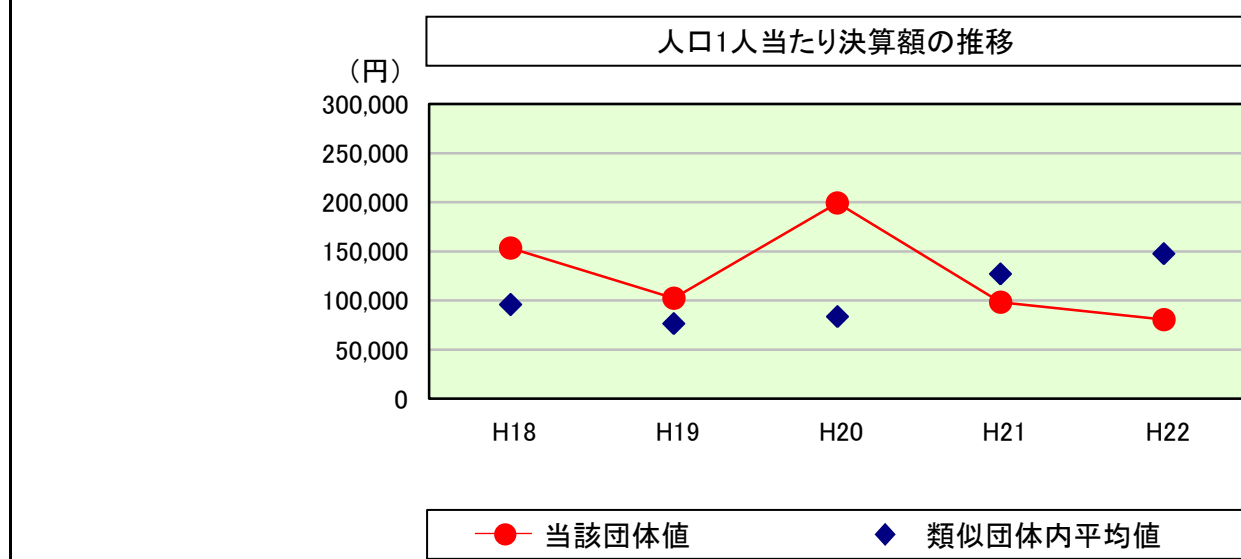


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	510,223	47,238	101,270	▲53.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	18,341	1,698	21,126	▲92.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	64,589	5,980	6,185	▲3.3
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	73,098	6,768	2,944	129.9
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	24	-
▲特定財源の額	▲17,709	▲1,640	▲4,422	▲62.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲430,837	▲39,889	▲77,524	▲48.5
合計	217,705	20,156	49,604	▲59.4

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

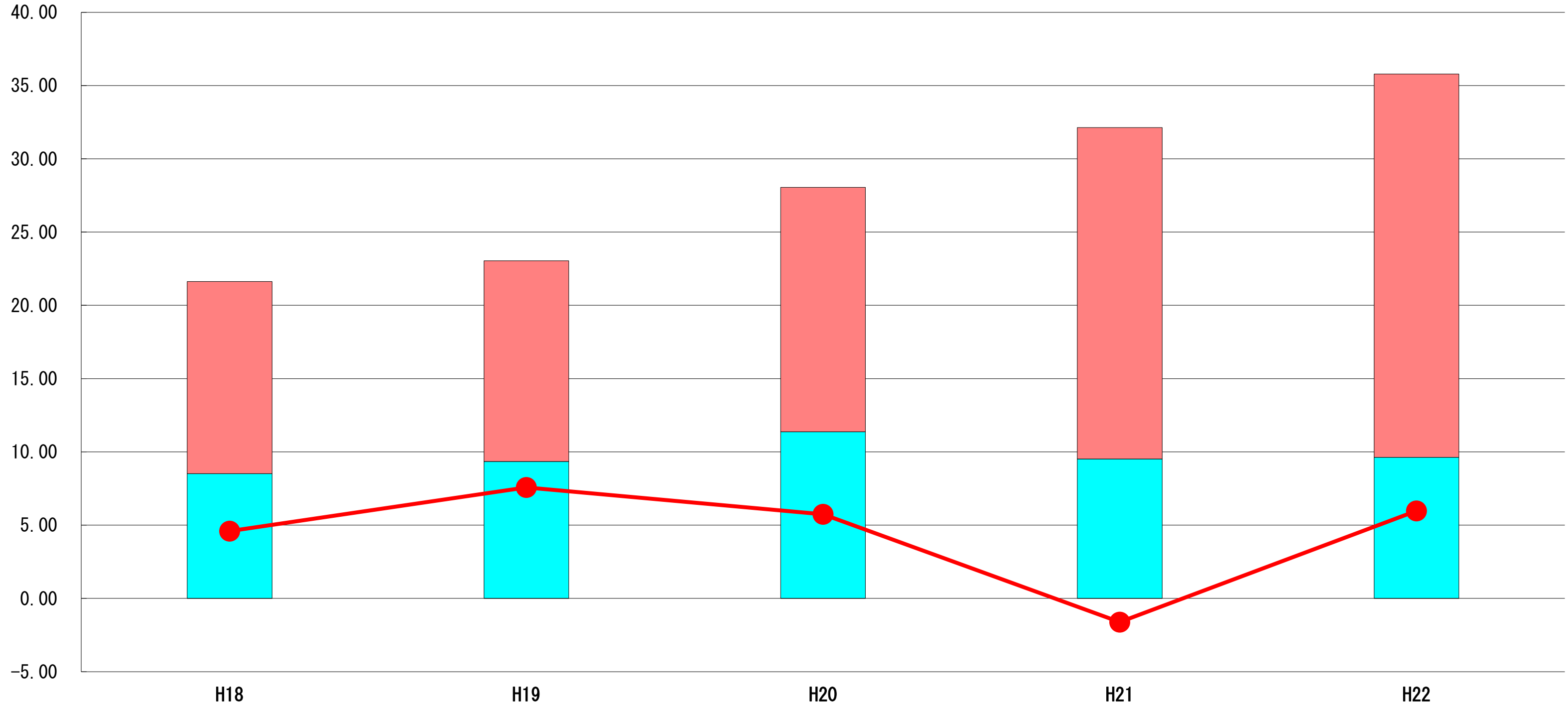
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H18	1,748,794	153,443	▲17.1	95,963	▲2.3	▲14.8
うち単独分	1,389,698	121,935	0.6	51,372	▲4.1	4.7
H19	1,154,893	102,375	▲33.3	76,581	▲20.2	▲13.1
うち単独分	779,491	69,098	▲43.3	43,275	▲15.8	▲27.5
H20	2,220,203	199,372	94.7	83,771	9.4	85.3
うち単独分	1,222,048	109,739	58.8	41,478	▲4.2	63.0
H21	1,081,807	98,328	▲50.7	127,151	51.8	▲102.5
うち単独分	909,836	82,697	▲24.6	72,559	74.9	▲99.5
H22	870,356	80,581	▲18.0	147,869	16.3	▲34.3
うち単独分	772,998	71,567	▲13.5	63,271	▲12.8	▲0.7
過去5年間平均	1,415,211	126,820	▲4.9	106,267	11.0	▲15.9
うち単独分	1,014,814	91,007	▲4.4	54,391	7.6	▲12.0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成22年度

大分県九重町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		13.11	13.69	16.68	22.61	26.15
 実質収支額		8.52	9.35	11.37	9.52	9.63
 実質単年度収支		4.59	7.57	5.74	▲ 1.62	5.97

分析欄

<財政調整基金残高>
 通年の財政運営を柔軟に行なうため、標準財政規模比で概ね25%以上を目指し基金積立を行なってきました。基金残高も年々増加しており、現在25%をクリアしています。

<実質収支額>
 翌年度の行財政運営を柔軟に行うため、毎年5%~9%を目途に決算の見込みを実施しています。

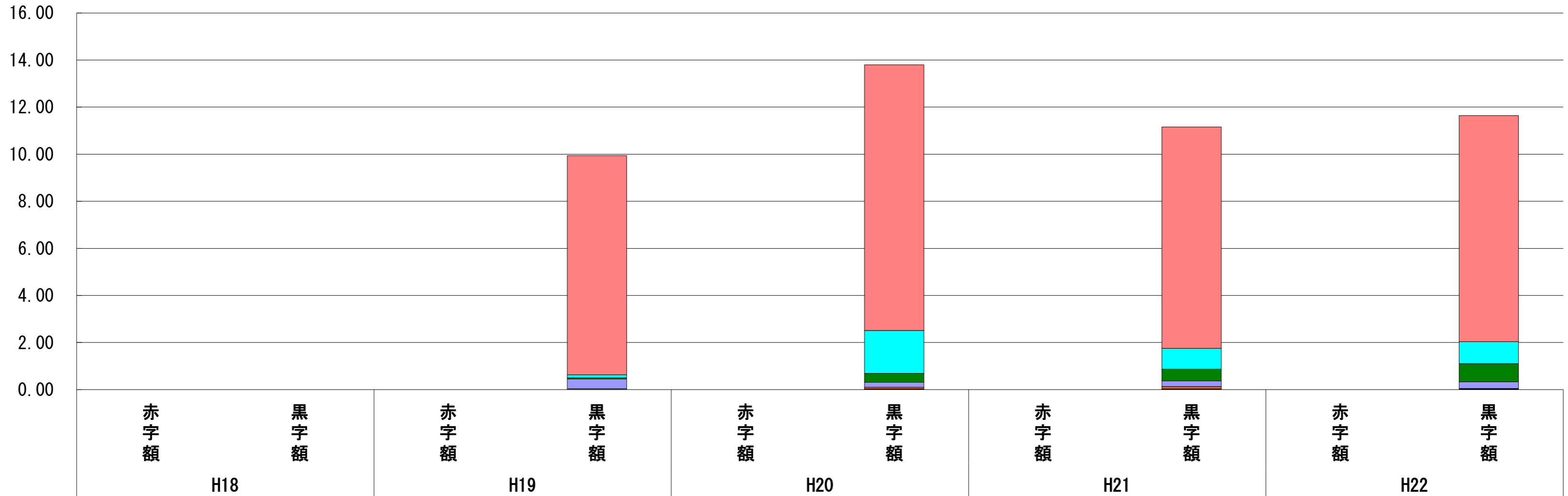
<実質単年度収支>
 公債費の繰上償還(216,664千円)の影響により、前年度に比べ7.59ポイント増加しました。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

大分県九重町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計		-	9.31	11.29	9.41	9.60
国民健康保険特別会計		-	0.12	1.82	0.88	0.94
介護保険特別会計		-	0.06	0.38	0.50	0.77
水道特別会計		-	0.41	0.21	0.24	0.28
飯田高原診療所特別会計		-	0.03	0.07	0.10	0.02
介護サービス事業特別会計		-	0.00	0.00	0.01	0.01
同和住宅資金貸付事業特別会計		-	0.01	0.01	0.01	0.01
後期高齢者医療特別会計		-	-	0.02	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成については、一般会計から他の会計への繰出しにおける赤字補填的なものはないことから、良好であると考えています。

特に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び介護サービス事業特別会計については、繰出基準の範囲内で財政運営を行っており、基金の取り崩しもなく、安定的な運営を図っています。

なお、介護保険特別会計については、平成23年度に第5期介護保険次行計画を策定し、平成24年度からは、予防事業を更に拡充する必要があります。

飯田高原診療所特別会計については、課題であった医師の常駐が確保され、今後、報酬の増により収支の赤字が見込まれます。

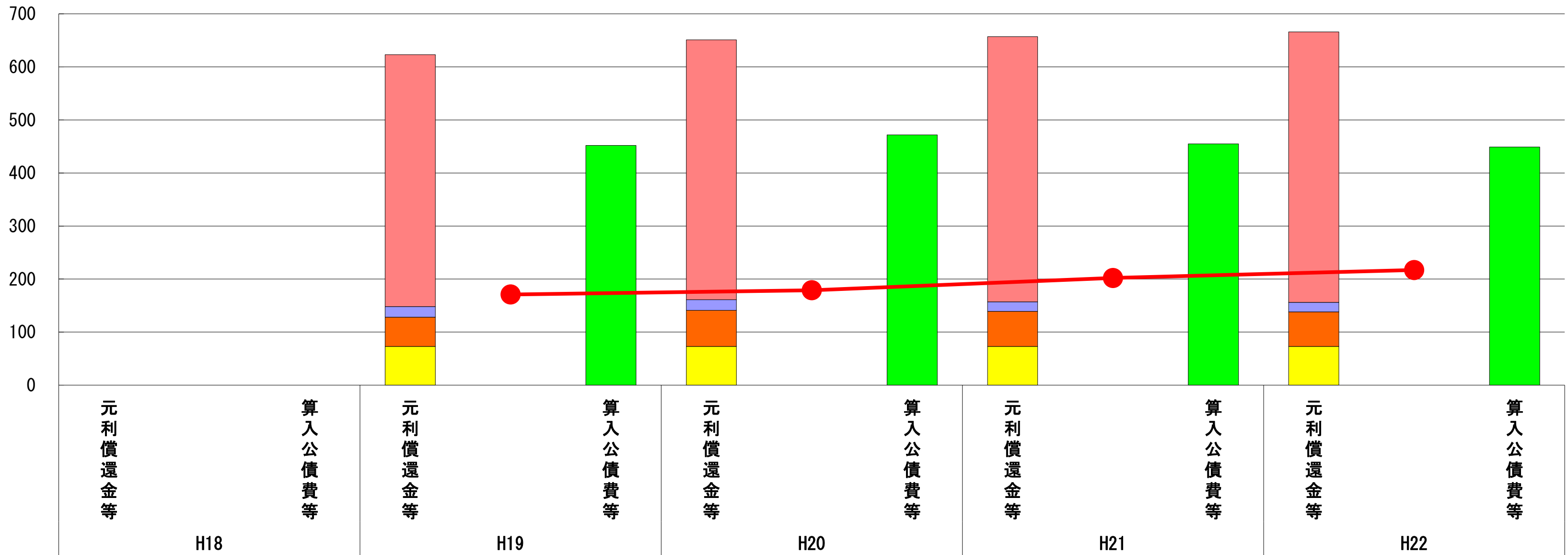
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

大分県九重町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金		-	475	490	500	510
	積立不足額考慮算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	20	20	18	18
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	55	68	66	65
	債務負担行為に基づく支出額		-	73	73	73	73
	一時借入金利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		-	452	472	455	449
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		-	171	179	202	217

分析欄

特徴としては、普通交付税に算入される公債費の割合が高く、結果として比率が全国的にも低いことがあげられます。

算入される公債費が減少しているのは、若者定住促進事業等で活用した地域総合整備事業債の残高が減少しているためです。

また、公債費は、過疎対策事業債及び臨時財政対策債の増であり、その他のものは例年並みで、今後についても急な変化はないものと見込んでいます。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

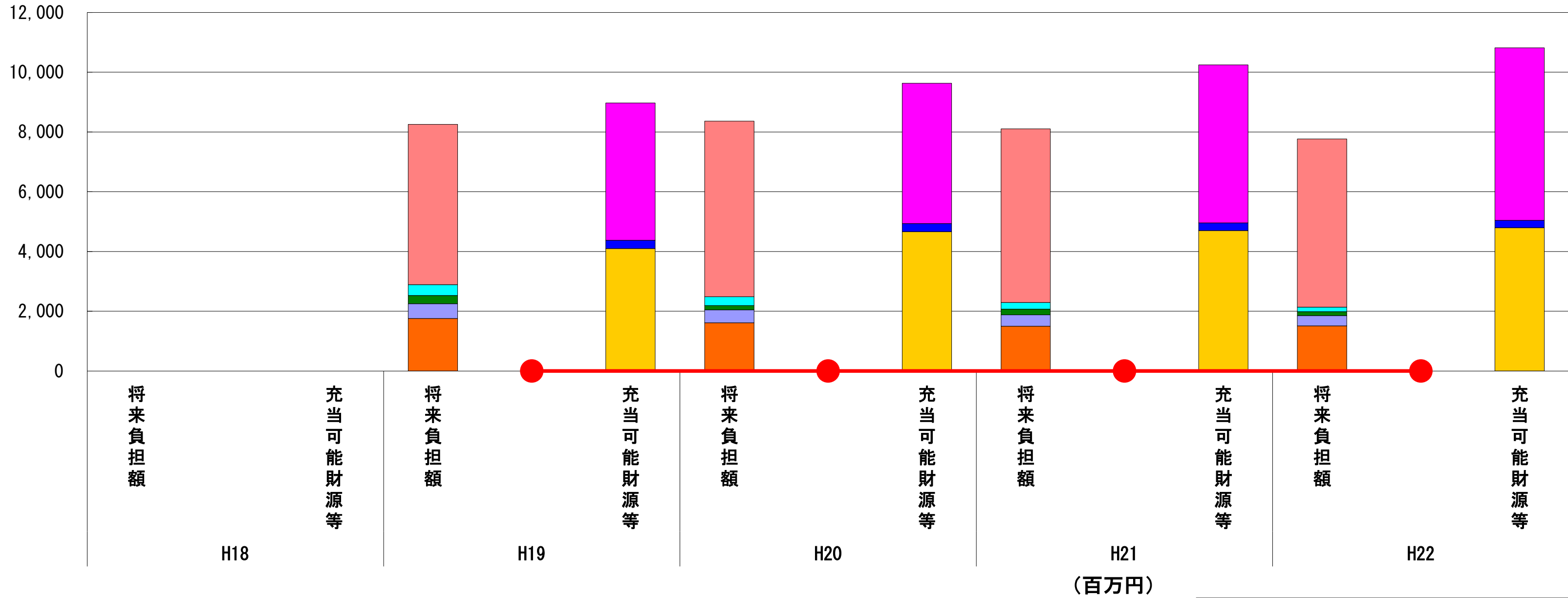
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

大分県九重町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	5,364	5,881	5,812	5,635	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	365	292	219	146	
	公営企業債等繰入見込額	-	277	146	191	133	
	組合等負担等見込額	-	492	435	379	344	
	退職手当負担見込額	-	1,756	1,610	1,500	1,510	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	4,600	4,698	5,285	5,772	
	充当可能特定歳入	-	273	266	259	248	
	基準財政需要額算入見込額	-	4,098	4,664	4,700	4,795	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	▲ 717	▲ 1,263	▲ 2,143	▲ 3,047	

分析欄
 年々、充当可能財源（主に基金）が増加しており、良好な状態ではありますが、特定財源（主に使用料等）の確保・拡大が今後の課題であります。

将来負担は、年々減少傾向にありますが、地方債残高は、今後の事業により増加する見込みであり、引き続き基金残高と地方債残高とのバランスを注視する必要があります。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。